



南風原町観光協会 網曳きウラー

未来に繋げたい地域に伝わる伝統

意地とプライドの あつかり合い



た」綱曳きであるといふことで、その情熱が綱曳き棒で熱く表現されま

校へ移動、発見隊と合流。津嘉山公園の歴史は古く、約80年前から続いている伝統行事です。その細かい間近で見学していくなどしてきました。その後、バスはレストランへ。かばやちやを練に練で頂いた後、グルメ屋敷へ。宇都城の駅から歩いて

綱曳きツアーやの様子
はえばる観光案内所に、先発
(17・45出発)と、後発隊(18・
出発)に分かれ始ました。

25日、26日に各字にて多くの顧問集まり、雨乞いや五穀豊饒を願う曳きが行われました。昨年同様、風原町観光協会では、津嘉山→土蔵町→照屋→喜屋武のコースをガイドと共にバスで巡る「南風原網走シマー」を有限会社ガリバ旅行企画と一緒に開催しました。町外から老若男女の参加者が16名あり、地域の伝統網走さきにとても感動し

字兼



ツアーパーに参加された皆さん。
町長にも入っていただき字津嘉山にて記念写真

宇兼城の煙曳きは毫巣の火吹きが行われ、竜馬が舞う中、にまつわる伝説をガイドが紹介。火の粉が舞う中、参加者は興味深々話を聞いていました。

また、昭屋、兼城では綱引きを使う道具、体験をしていただき、宇の青年たちのリズムに合わせ、参加者もドラ��をいただき、伝統行事を肌で感じていただきました。

宇兼城で合流した一行は、兼城の火を吹き炎いを焼き清めた竜蛇の川流しを見学した後、バスで案内所まで戻り解散となりますが、希望者には夏屋武の雄鷲と雌鷲を力子チヂ橋で結合するときから、シャツが破れるほど激しく争う「けんか綱」の喜屋武の会場まで案内をしました。

す。綱曳きの前後には女性たちによる綱曳き歌が披露され、会場には味わい深い歌声が響いていました。

**ケータリング
出張致します！**